



大みか

第112号 2017・12・25

市民報

発行 日立市大みか学区
コミュニティ推進会
会長 小松信保
編集 地域活動局
広報部
☎ 53-5211

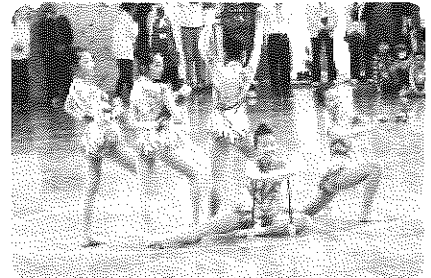
台風にもめげず楽しくハッスル

第37回大みか市民レク大会開催

10月29日大みか小学校体育館で恒例の市民レクリエーション大会が行われました。台風22号の影響で雨降りにもめげず333人の子どもと一緒に家族連れから高齢者までの三世代が参加し、賑やかに元気溢れる演技や競技で盛りまりました。

可愛い水木幼稚園のソーラン踊り、水木保育園の荒馬踊りに始まり、今年は、泉丘中学校の新体操

部の華麗なる演技が披露され注目を集めました。競技種目は「太公望指南」が新競技で、獲物のお菓子を親子で協力して沢山釣り上げていました。○×クイズ、買い物競争、全体抽選会等好評の競技が行われ、沢山のお土産を手にして皆ニコニコでした。会場一杯に元気な子ども達と若い人が躍動し、大みかの将来が明るくなったような一日でした。取材 広報部



泉丘中の新体操部演技



新種目：太公望指南



祭りはみこしだ！



佐和高マーチング部の感動の演奏

市民交流の場に

第7回「大みか祭り」開催

8月26日朝10時より、シティロード大みかにて20時まで、恒例の祭りが開催された。

連日雨の続く8月の最終土曜日、心配の雨もなく無事に盛大にできました。今年のイベントは、五ヶ所の保育園・幼稚園の出し物に始まり、泉丘中学校吹奏楽部、佐和高校マーチング部の2回の演奏に加えて明秀高校チアリーダー

ィング、茨大のチアリーダーィングと大道芸演技と学生中心の演技の素晴らしさに、地域の祭り、全員で作っている祭りを感じました。準備は23日の水曜日に提灯を飾り祭りを盛りあげました。

実行委員会は、「若いボランティア」を募集中です。気軽に近所の自治会の役員さんに申し出て下さい。取材 広報部

市政懇談会

小川市長を囲んで 2時間開催

10月30日、交流センターに市長、市長公室長、総務部長、広聴広報課長、副参事の5名が来られて、大みか市民36名の参加で開かれた。DVDの視聴の後、市政の3本柱の①震災復興の総仕上げ②安全・安心のまちづくり③地方創生・人口減少対策、について説明があり市政の基本計画が理解で

きた。大みか学区からの要望項目、○集会所の新設、○防犯灯の設置と電気代、○原発事故の意識風化防止対策についての市の取り組みの回答があった。市民との質疑応答では・ゴミ対策・緊急放送用個別受信機・後期基本計画の達成度確認方法・若い人の意見の発表の機会について質問回答があり、要



小川市長の報告説明

望として、東海第2原子力発電所廃炉の方向で検討ください。等、有意義な意見交換ができました。困りごとは市民相談室へ

TEL 22-4286

取材 広報部

福島県田村市に決まりました

原子力災害県外広域避難先視察に参加

8月7日、日立市生活安全課の主催する各学区20名募集の見学会に大みか学区として、22名の参加者がありました。日立市地域防災計画に基づき、原子力災害時に住民が広域避難を行うことを想定した計画で、大みか学区の避難先は福島県田村市総合体育館と定められました。視察は専用バスで生活安全課の2名と運転手さんを含め25名の参加でした。常磐道の日立南太田ICから磐越道を船引三春ICで降り田村市の総合体育館に向いました。体育館は先の

3.11東日本大震災の時、双葉町の避難中継所としての経験があり、当時の説明を受けました。約2千人の収容が体育館で可能で中継地として、田村市内の施設全体で、5～6千人の受入れは可能との事でした。避難先は決まったわけですが、避難所を運営するのは大みか町の住民になります。是非日頃から、コミュニケーション作りを大切にしたいです。

原子力災害時の避難時にはスクリーニングポイントがあり、放射



田村市体育館で参加者全員

能汚染度の検査がありますので、充分な着替えを用意しておくのも重要な事です。汚染されている着物は脱ぎ捨てなければなりません。それと長期避難になることを覚悟して水、簡易トイレ、食料などの携帯が必要になるのでしょうか。計画が計画で終わる事を望みます。取材 広報部

今年は51名が参加 救急救命講習会実施

7月15日と10月14日の両日で救急救命講習会を、臨港消防署の指導で実施した。人工呼吸とAEDの使用法の講習会である、

119番通報をして救急車が到着するまでの6～7分間に救命処置をすると救命率が高くなる等の説明を受けた後、協力者を集めて119番通報し胸部圧迫と人工呼吸を継続したり、AEDの活用の実技習得にはげんだ。 防災防犯部



AEDと胸部圧迫は連けいして



大きな流しそうめんの初体験

7月29・30日の2日間、小学6年生31名参加で、小学校校庭と体育館にて開催しました。子ども会育成連合会の主催で、校庭での

小雨なんか気にならない！ 大みか元気っ子宿泊体験開催

宿泊用テント張りから始まり、バーベキュー、肝試し、花火、テント宿泊等の体験をしました。バーベキュー後小雨が少し降りましたが、子ども達は何の心配もなく楽しい夜をすごしました。2日目のレクリエーションは茨城キリスト教大学の「児童文化研究会」の学

生10名による、ゲームで2時間楽しく体育館で遊びました。青少年育成部は、シャワー、バーベキュー、竹の食器作り、かき氷作り、流しそうめんの準備などの応援隊でした。子どもたちは、仲間と協力して活動する事の楽しさを学んだ事でしょう。 青少年育成部

手を回してイチ、ニイ、サン 三世代ラジオ体操開催

8月19日、小学校グラウンドでの早朝のラジオ体操に20名の参加者があり、20日は40名の参加がありました。夏の早朝の体操を楽しみ、最終日には抽選会もあり「早起きは三文の得」となる参加賞の洗剤をもらいました。



早朝の体操はキモチー

ラジオ体操は水木町出身の遠山喜一郎氏が考案した体操で、90歳以上の健康長寿者では、「毎日

体操する」人が多いと TVで話題になっています。みなさん体操をしましょう。 青少年育成部

ゴルフ好きの仲間集まれ！ 第23回コミ推杯ゴルフ大会

11月2日、スパ&ゴルフリゾート久慈で8名の参加で開催されました。10月までの雨模様を綺麗に打ち払う好天にめぐまれた一日になりました。優勝は2丁目の石田英明さんで、初参加での優勝となりました。次回大会は春の6月上旬予定です、多数の参加をお待ちします。 文化体育部

優勝しました！ 大みかコミ推(日立市)チーム

第15回交通安全高齢者自転車競技茨城県大会 参加

10月4日、ひたちなか総合体育館にて、県内28市町村から、チーム各5名で計140名が参加して開催された。競技は体育館内に設定したコースで、自転車の交通ルールを守り安全な乗り方の得点とタイムを競います。出場資格は、男女を問わず、70歳以上となっています。今年の日立市(日立警察署管内)代表は大みかコミ推が当番となりました。

メンバーは青木昱秀、山口勇、小松信保、根目沢隆、大上三千男、坪井やいち氏で平均年齢73歳の6名で参加しました。水木交流センターの泉ヶ森体育館を借用し、交通安全協会、警察署、市役所生活安全課の指導員の下で、自転車操法の技能向上の訓練を12回重ねて優勝しました。日立市は15回の大会で初めての優勝でした。

「優勝できたのは、熱心に適切



応援団と一緒に

に指導をしてくれた若い沢山の美人指導員のおかげでした」とメンバーは話していました。当日応援に参加された方々も大変ご苦労さまでした。

取材 広報部



風神山公園で参加者全員

11月5日、絶好の晴天に恵まれて、市内からの参加者11名と役員3名で、朝9時にタクシーで風神山の山頂駐車場まで行き、ウォーキングの開始です。

風神・雷神の碑の建立の由来を聞

物作りを体感しよう！

夏休み理科教室開催

8月5・6日に交流センターで開催されました。

「メロディボックスを作ろう♪」日立理科クラブの指導による教室には14名が参加した。

「光のオブジェディスプレイ」おもしろ理科先生角田恒巳先生に

大みかの魅力を再発見

日立の魅力再発見ウォーク実施

き、展望台からの眺めを満喫した。残念なことに山頂の木立の成長で市街の眺望が良くない。改善の必要性を感じました。しかし足元に咲いている「つりがねにんじん」の薄青い可憐な高山植物に歓声が上がっていました。古宮の碑・恵みの泉を経て大甕神社にお参りし神話の世界を味わい、岩山山頂の奥の院まで登りました。神社は

七五三の参拝で賑やかでした。

泉川道標・大みかゴルフ倶楽部・茨城キリスト教大学・八坂神社・六ツ塚古墳を経て交流センターへ12時30分に戻りました。

交流センターで、お茶とお菓子の接待を受けひと休み、参加者からは「再発見が沢山あって楽しかった！」と好評でした。

広報部



メロディボックス完成記念

よる、この教室には9名が参加した。トランジスター、発光ダイオード等の専門用語での説明を聞き



出来た 光のオブジェ

て作品を作りました。

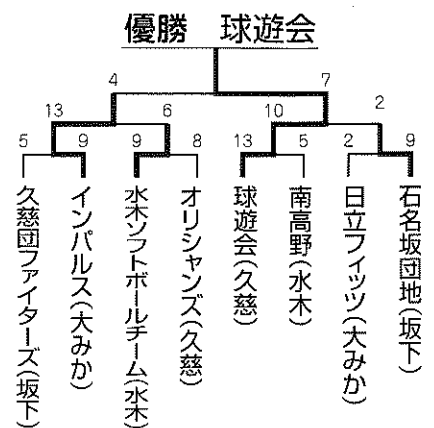
子ども達は物作りの楽しさを経験出来ました。生涯学習部

インパルス準優勝

第7回南部4地区親善ソフトボール大会開催

9月3日、秋晴れのもと、ソフトボール大会が、通称「赤い橋」で有名な久慈川河川敷球場で2面を使い開催された。水木・久慈・坂下・大みかの各地区2組計8チームの参加により坂下地区の主催で開かれた。試合は5イニング60分(決勝は70分)争われ、各試

合共に熱戦が展開されました。大みかの代表日立フィッツは石名坂団地チームに2対9で1回戦で敗退したが、インパルスは決勝戦を球遊会(久慈)と戦い4対7で惜敗して準優勝でした。当日は参加者全員怪我もなく楽しい4地区親善の日となりました。文化体育部





3.11 大震災が残してくれたもの

— その時 わたしは —

其の12 大みか町1丁目 川又 礼子

3.11の日、私は帰宅困難でした。14時46分に水戸市内で仕事終了後同僚の相談話を聞いていた時でした。建物が大きく揺れて地震のアナウンスは無く、建物から外に急いで出た人達はオロオロしていました。同僚と別れた後、帰宅の国道6号が大渋滞、携帯電話が繋がらなく震災情報が得られず不安でした。車のラジオを頼りにガソリン不足のまま帰り、真夜中に那珂川に近い交差点で警察の方に聞

くと、ガソリンはどこも無いと言われました。携帯電話を掛け続け100回以上掛けてやっと家に繋がりました。親戚にもメールをしました。丁度家に戻った主人に迎えに来てもらい夜中過ぎに帰宅出来た。厳しい寒さと街中が真っ暗で、復旧まで家のローソクを灯りにしました。実家の父は、仕事の発電機を使って井戸水を汲み出して近所に配りました。ライフラインが停止で、初めての不便さを体

験しました。東京から日立の家に戻れなくなったと親戚から電話があり、迎えに行きました。

家に備蓄品を準備してなかった為、物流が復旧するまでは一人数点の買い物をしていました。そんな中、有難くも宅急便で友人から救援物資が届きました。その後東北の知人にも物資を送りました。友達との情報交換は大事でした。

3. 11の経験は忘れない

- ・街の避難訓練へ参加する
 - ・防災用品、備蓄品の準備する
 - ・家族の集合場所は決めておく
- 上記は大事な事です。

先ず避難、自助活動が大切です。



足尾銅山入口で記念写真

11月9日晴れ、栃木県の足尾銅山等を見学の為、バスで午前7時大甕駅前を33名の参加者で出発した。大間々駅からわたらせ溪谷鉄道で神戸駅まで、その後バスで富弘美術館に行った。星野富弘は現群馬県みどり市に生まれ、24歳の時に地元の中学校教諭で体育

富弘美術館と足尾銅山を見学

大みか大学 野外学習開催

の時間に、鉄棒から落下して半身不随の大怪我をした。その後口に筆をくわえて、文や絵を書き始めたという、有名になった花の詩画展を開き、国内はもとより世界各国で好評を博した。平成17年に、新しい美術館になり、これまでに600万人以上の見学者があるという。展示室は33部屋あり、彼は群馬県の名誉県民でもある。

彼の作品を見て感じた事は、勇氣や喜びを教えてくれたと思う。

次に足尾銅山では、トロッコ電車に乗り暗い700mの坑道に入り、400年前の江戸時代に農民が手掘りで銅鉱石を採掘する人形の姿から始まり、明治・大正・昭和へと機械化される様子を見学した。

足尾銅山は、日立・別子(愛媛県)とで日本3大銅山と呼ばれたがその後、足尾銅山は鉱毒や亜硫酸ガスで、はげ山となり日本の公害認定1号となった。午後6時過ぎに帰着した。 生涯学習部



○カルガモ親子あらわる

6月24日防災避難訓練参加後の帰り道、大みか労働金庫近くの吹上通りの駐車場で発見しました。子ガモは何処で育ったのか判りませんが、池の所在地をご存じの方はご一報ください。



大みかのカルガモ親子

○Jアラート警報出る

8月29日午前6時ごろと9月15日午前7時ごろの2回Jアラートがなった。北朝鮮のミサイル実験でミサイルが日本列島を飛び越し北海道襟裳岬の東1180km沖に落下し、2回目も襟裳岬の東2200kmに落下したとの事。我々は、閉鎖された国の国民ではなくて、つくづく良かったと思います。

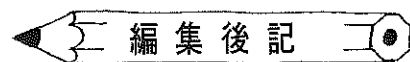
○日立灯台開放と日立港祭り

7月30日に灯台開放され、午前10時より海上保安庁の職員が説明に対応してくれた。昨年は約400名以上の見学者があったとの事。港祭りは午後7時30分より

花火が上がり大変賑わいました。

○国道245号拡幅工事説明会

9月28・29・30日に地権者他の関係者への説明会が開かれました。今回は日立港入口からココス前の水木交差点までの4車線化です。



大みか地区は、災害が少ない安全な町と思っているが、最近気になるのが原発事故による放射能災害です。余りにしていない人が多いけれど、大みかは東海原発から5km圏内、事故が起きたらすぐに避難しなければならない。日頃から心の準備が必要です。青木記